

# 「情報システムと社会環境」研究会 主査の就任に当たって

2016年6月11日

児玉公信（情報システム総研）

# 沿革

## ■ 情報システム研究会 設立経緯

- 1984年6月発足
- 提案者：浦昭二，有山正孝，伊吹公史，高木幹雄ほか

## ■ 前文

- 情報処理技術が社会・経済，人間の生活のためにいかにあるべきか
- 人間を中心とした情報システムのあり方と構築法について，広く高い見地から現実に即した研究を行う
- 情報システムは，人間・組織を含む情報の生産・流通・利用に関わる一連の過程のこと

## ■ 目的

1. 組織が情報システムを設計・構築・導入・維持・利用するに当たっての問題点の把握と，解決のために必要な概念および理論を形成し，方法論の確立をめざす
2. 情報システムと個人，組織および社会との相互の影響の問題点を把握し，その対策を研究する

# 沿革

## ■ 情報システム研究会設立経緯（続き）

### ■ 主な研究分野

1. 組織内部での情報に対する必要性の解析と明確化
2. 組織のための情報システムの解析および全体設計
3. 組織内部での情報及びデータの管理
4. 組織内部および社会における情報システムの有効な利用法
5. 情報システムおよびその基礎となる情報技術と、個人・組織体・社会との関係
6. 個人・組織および社会の生活を向上させる情報システムの構築法

# 沿革

## ■ 歴代主査

1. 浦 昭二	(1984-1987)	1-18	
2. 伊吹公史	(1988-1991)	19-38	
3. 上野 滋	(1992-1993)	39-48	
4. 山本毅雄	(1994-1995)	49-58	
5. 黒川恒雄	(1996-1999)	59-73	+ 社会環境
6. 神沼靖子	(2000-2003)	74-87	
7. 市川照久	(2004-2007)	88-103	
8. 辻 秀一	(2008-2009)	104-111	
9. 阿部昭博	(2010-2011)	112-119	
10. 刀川 真	(2012-2015)	120-135	
11. 児玉公信	(2016-)	136-	

# 沿革

## ■これまでの取り組み

### ■ISカリキュラム標準

- 浦昭二ほか：情報システムの教育体系の確立に関する総合的研究、平成3-4年度科研費研究成果報告書、1992.3
- IS'95-'97
- ISJ2001
- J07（情報システム教育委員会）
- J17（情報システム教育委員会）（予定）

### ■IS論文

- 査読基準の見直し 永田論文（2001）
- ジャーナル「情報システム論文」特集号（2005-）
- 質的研究論文の査読基準（2013）

### ■情報システム教育コンテスト（2008-）

### ■ISデジタル辞典（2012）

### ■情報システムの有効性評価

- 量的評価のガイドライン（2012）
- 質的評価のガイドライン（2013）

# 私にとっての理想の研究会

## ■ 情報システム学の実践者、研究者の交流の場

### ■ 研究発表会

- 研究者サポート体制
- レビュー（サーベイ）論文
- プラクティスの蓄積

### ■ プロジェクト活動

- 目に見える研究成果物の共有
- 実務者が参加可能なテーマ
- 産業界との協働

### ■ 社会的発言力

- 情報システム学のスター（ニュースに出る「有識者」）
- 学会としてコメントする人、情報処理教育委員と連携
- 実は研究会がブレーンとなる

### ■ 成果の指標

- 研究会登録者数の増加
- 研究発表会参加者数の増加
- 研究成果物のアクセス数増加

# 研究分野の見直し

## ■ 情報システム学に対する理解の進展はあるか

### ■ 発足から32年

- 何が変わったか
- 何が変わらなかつたか
- どう変わるべきか

### ■ 日本学術会議 情報学分野の参考基準

大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参考基準

#### 4.(1).①.オ

情報システムを開発する技術

情報システムの効果を得るための技術

情報システムを伴う社会的なシステムの学

情報システムと人間のインターフェースに関する原理や設計方法

### ■ 研究分野の見直し

# 本期の活動

## ■ 研究発表会

①6/11, ②8/25-26, ③12/3, ④3/3-4

## ■ シンポジウム, チュートリアル

災害シンポジウム : 12/26

論文ワークショップ : 6/15@横浜国立大学

全国大会でのイベント企画?

## ■ プロジェクト活動 (検討中)

■ 「ISディジタル辞典」の改訂

■ レビュー論文執筆

テーマを決めて

研究会報告から徐々に論文へ

■ 情報システムのデザインガイド

共通問題によるデザインコンペ

デザイン論の文献調査

■ 社会提言活動の準備